

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[6] ジイソプロピルナフタレン</p>	<p>【底質】</p> <p>底質試料 湿泥 (乾泥換算約10g)</p> <p>抽出 アセトン 20mL 振とう 10分間 超音波 10分間</p> <p>遠心分離 2,200rpm、10分間</p> <p>上澄み</p> <p>残さ</p> <p>抽出 ヘキサン/アセトン(20:80) 20mL 振とう 10分間 超音波 10分間</p> <p>遠心分離 2,200rpm、10分間</p> <p>希釈 5%塩化ナトリウム水溶液 200mL</p> <p>振とう抽出 ヘキサン 20mL、10分間 ヘキサン 10mL、10分間</p> <p>脱水 無水硫酸トリウム</p> <p>濃縮 窒素パーズ 1mLまで</p> <p>カラムクリーンアップ ENVI-Carb 0.5g/12mL 溶出: ヘキサン 15mL</p> <p>濃縮 デカン 20µg 窒素パーズ 1mLまで</p> <p>脱硫黄処理 銅粉</p> <p>GC/MS-SIM-EI</p> <p>ジソジスチン添加 HCB-¹³C₆ 10ng</p> <p>注1) GC/MS-SIM-EIに代え、GC/HRMS-SIM-EI又はGC/MS-MRM-EIで行った例があった。 注2) 濃縮において、窒素パーズに代え、ローターエバポレータを用いた例があった。 注3) 脱硫黄処理をカラムクリーンアップの前又はジソジスチン添加後に行った例があった。 注4) 脱硫黄処理後にシリカゲルによるクリーンアップを追加した例があった。</p>	<p>分析原理: GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値: 【底質】 (ng/g-dry) [6] 0.64</p> <p>分析条件: 機器 GC: HP6890 MS: JEOL JMS-Q1000GC K9 又は Finnigan MAT95XL</p> <p>カラム SUPELLOWAX 10 30m×0.25mm、0.25µm</p>
<p>「平成20年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>		

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[6] ジイソプロピルナフタレン類</p>	<p>【底質】</p> <p>底質試料 湿泥 (乾泥換算約5g)</p> <p>抽出 1mol/L水酸化カルシウム/アセトン 溶液 30mL 振とう10分間 超音波10分間</p> <p>遠心分離 2,200rpm、10分間</p> <p>上澄み</p> <p>残さ</p> <p>抽出 ヘキサン/アセトン(10:90) 30mL 振とう10分間 超音波10分間</p> <p>遠心分離 2,200rpm、10分間</p> <p>希釈 5%塩化ナトリウム水溶液 200mL</p> <p>振とう抽出 ヘキサン 10mL、10分間 ×2回</p> <p>洗浄 精製水</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>濃縮 窒素パージ 1mLまで</p> <p>カラムクリーンアップ ENVI-Carb 0.5g/12mL 溶出：ヘキサン 15mL</p> <p>濃縮 窒素パージ 1mLまで</p> <p>GC/MS-SIM-EI</p> <p>シリコン Spike 添加 HCB-¹³C₆ 10ng</p> <p>「平成20年度化学物質分析法開発調査報告書」を参考に変更</p>	<p>備考</p> <p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【底質】 (ng/g-dry) [6] 7.2</p> <p>分析条件： 機器 Agilent 5973 GC/MSD カラム DB-WAX 30m×0.25mm、0.25μm</p>

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[6] ジイソプロピルナフタレン類</p>	<p>【生物】</p> <p>注1) GC/MS-SIM-EIに代え、GC/HRMS-SIM-EIで行った例があった。 注2) 濃縮において、窒素バージに代え、ローリーエバポレータを用いた例があった。 注3) カラムクリーンアップにおいて、ブランクが検出されたため、Bond Elut SIを用いなかった例があった。 注4) 脱硫酸処理後にシリカゲルによるクリーンアップを追加した例があった。</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【生物】 (ng/g-wet) [6] 0.46</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP6890 MS：JEOL JMS-Q1000GC K9 又は Finnigan MAT95XL</p> <p>カラム SUPELCOWAX 10 30m×0.25mm、0.25μm 又は InertCap Pure WAX 30m×0.25mm、0.25μm</p>

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[6] ジイソプロピルナフタレン類</p>	<p>【大気】</p> <p>大気 → 捕集 (Sep-Pak PS-AIR 3L/分×24時間) → 溶出 (ジクロロメタン 10mL) → 濃縮 (デカン 20µg 窒素ペース 1mLまで) → GC/MS-SIM-EI</p> <p>シリコンペースト添加 HCB-¹³C₆ 10ng</p> <p>注1) 捕集において、Sep-Pak PS-AIRを2個用いた例があった。 注2) 濃縮において、0.5mLまで行った例があった。</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【大気】 (ng/m³) [6] 0.66</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP6890 MS：JEOL JMS-Q1000GC K9 又は GC：Agilent6890N MS：JEOL JMS-K9 カラム SUPELLOWAX 10 30m×0.25mm、0.25µm 又は DB-WAX 30m×0.25mm、0.25µm</p>